

福島正美ニュースレター

立川市議会議員 福島正美
TEL/FAX 042-522-9971



文化・芸術の力でまち並みを変える

本市も少子高齢化の進展に伴い持続可能性を重視した行政運営が必要となっていますが、人口減少の流れを食い止めるべく立川版の地方創生戦略が今求められています。「にぎわいとやすらぎの交流都市」という基本構想の体現を目指し、若い子育て世代の希望をかなえ新しい人の流れを創る取り組みを進めて参ります。そして何よりも立川のまちの奥行きを深める文化芸術の香り高いまちづくりを推進して参ります。皆様からの一層のご指導を宜しくお願い申し上げます。



9月定例議会報告

市長選後最初の議会第3回定例会が開催されました。平成26年度の一般会計及び特別会計に対する決算が認定されました。私からは3期目の当選を果たした清水市長の所信表明に対しての代表質問を下記の通り行ないました。

- これまで2期8年間推し進めてきた「行財政改革」に貫かれた市長の政治信念とは何か
- 地方版総合戦略で明らかになった20代後半～30代前半の若い子育て世代が立川から転出していくことをどう分析しているか
- シティプロモーション戦略で立川のどんな売りや魅力を発信しようとしているのか
- 保育園待機児童解消のための保育総合相談受付窓口の開設を
- 「総合教育会議」の新設によりこれからの立川の教育についてどういう展望を持つか
- 小中連携教育の実施にどういう意義と効果を考えているか
- アートや音楽の溢れる文化芸術の香り高いまちづくりに向けどういう展開を図るのか
- 第6次介護保険事業計画で示された平成29年度までの介護施設の整備計画（小規模多機能×1，小規模特養×1，認知症グループホーム×2）はどのような基準に基づいているか
- スタンドパイプの地域自主防災組織への早急な配備を



福島正美ホームページ <http://mf2933.sakura.ne.jp>

フェイスブック <https://www.facebook.com/masami.fukushima.75>

トピック

平成28年度

予算要望書を提出しました



公

明党立川市議団は平成28年度の予算要望書を清水市長に提出しました。

地方創生が進み、本市も多摩の要の地であることを念頭に、まちの特性に基づいた独自のまちづくり戦略が求められています。「にぎわいとやすらぎの交流都市立川」との基本構想のもと、自主性溢れる政策を実行し、大切な市民1人1人に寄り添い、生きがいと誇りを与えられる基礎自治体としての使命を果たして参ります。公明党は地域の皆様の声に基づいた「人が生きる」ための子育て、教育、支え合い、文化、健康、安全、潤い、持続可能等の柱を中心とした施策を提案致しました。

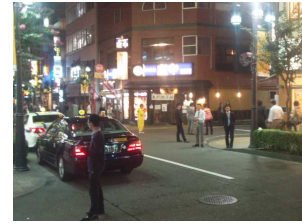


皆様の声で実現!!

立川市 「客引き・客待ち防止条例」 が制定されます



立川市はこれまでの「つきまとい勧誘行為防止条例」を改正し「客引き客待ち防止条例」を制定します。(12月施行予定) これまで住民や商店街の多くの皆様から声を頂き、「公道上での客引きは禁止すべき」と条例改正を訴えてきました。南口のイメージアップに全力で取り組んで参ります。



錦町1-24 ナイスエスアリーナマンション 東側通学路に飛び出し注意看板を 設置します



これからも危険な通学路対策を実施して参ります。



発行：福島正美後援会

市民相談いつでも お気軽にご相談下さい 福島正美まで



□環境建設委員会副委員長

電話：042-522-9971

携帯：090-6545-2425

E-Mail:mf2933@yahoo.co.jp

URL:http://mf2933.sakura.ne.jp